

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.294 2016.10.26 連絡先 402-1622 >

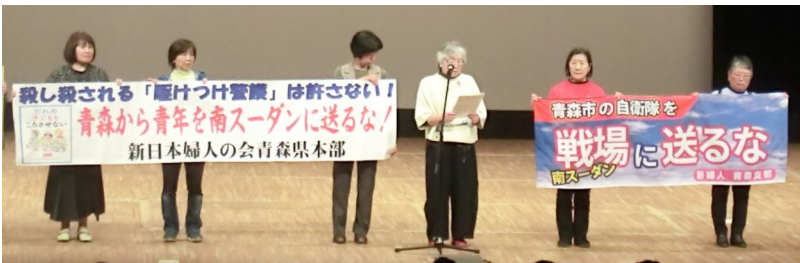
日本平和大会in三沢

10月22、23日、青森県三沢市で日本平和大会があり参加しました。

全体会では、息子さんが自衛隊員の平和子さんのお話に胸をうたれました。

「私の次男が自衛官。元々は民間の会社に勤めていたが、経営が思わしくなくなって自衛隊に入隊。私は戦争は反対、平和運動に興味はあったが特別何かをしていたわけではなかった。年月が過ぎ、昨年の衆院補選の前に、南スーダンへの派遣に息子の部隊が対象となっていることを知り、安保法制反対の候補の応援をしたことで、注目をあびるようになったが、そのときはまずいと思った。以前に息子から、じぶんの本採用に影響するからやめると言われていたのだ。その時冗談のつもりで『派手にやりたくなったら、平和子と言う名前で、あんたとは無関係ということにすればいいんだ』と話していた。その冗談が本当になってしまった。息子には、いわゆる絶縁状を送った。そこには「こんな私のところに生まれてきてくれてありがとう。これから母さんがすることを許してください。・・・お嫁さんと孫二人を守り抜き、天寿を全うしてください。それが母さんの願いです。」と書いた。いま南スーダンは緊張が激化している。かなり危険だと現地からきているにもかかわらず何事もなかったかのように、また青森から派遣されてしまう。自衛隊は、日本を守るために日々厳しい訓練をし、ひとたび災害が起きればいち早く駆けつけ私たちを守ってくれる日本の宝物のような存在。その宝物を海外の紛争地に差し出す意味はなにか。戦争利権以外の何物でもないと思う。このおかしい流れを早く終わらせるべく、声を上げ続けていく」という、お話でした。

息子と縁を切ってまで平和運動に身を置いた母としての覚悟を思うと身震いするほどです。



また、今の日本社会の危なさが、そうまでしないと活動できないところに表れていると感じました。本当にこのおかしい流れを、一日も早く終わらせなければなりません。

みち子のひとりごと 続々・沖縄

あと一回、沖縄編を。
私は人に「口がお子ちゃまだね」といわれるほど、山椒の風味やシヨウガのガリガリしたところ、春菊など苦手です。当然、ゴーヤも苦手です。ところがです。沖縄では当たり前のように、毎日出てくるゴーヤチャンプルを、仕方なく少しづつ食べてはいたのですが、なんと、4日目の昼食時、おいしい!と思ってしまったのです。おいしい!と思った自分にびっくり。「今回のゴーヤは、昨日より苦いなあ」と言つてあまり手の伸びない人を横目に、すすいすい手が伸び、たくさんいただいたしまいました。
しまらっきょうも沖縄ならではのものです。初日はてんぷらになっており、知らずに口へ…後悔しました。4日目は、塩漬けのものに挑戦。でもその後、手を出す気にはなりませんでした。
ゴーヤチャンプルは制覇できただけ、しまらっきょうはまだ「お子ちゃま口」はなおりそうありません。



0908-01-1576457

「あたらしい憲法のはなし」 ⑩

このような地位に天皇陛下をお置きしたのは、日本国民ぜんたいのかがえにあるのです。これからさき、国を治めてゆく事は、みな国民がじぶんでやっていかなくてはなりません。天皇陛下はけっして神様ではありません。国民と同じような人間でいらっしやいます。ラジオのほうそうもなさいました。小さな町のすみにもおいでになりました。ですから私たちは、天皇陛下を私たちのまん中にして、私たちが、天皇陛下を治めてゆくについて、これでお置きして、国を治めてゆくについて、これでお置きして、うにしなければなりません。これで憲法が天皇陛下を象徴とした意味がおわかりでしょう。

六 戦争の放棄
みなさんの中には、こんどの戦争に、お

どうさんやにいさんを送り出された人も多いでしょう。ごぶじにおかえりになったでしょう。それともとうとうおかえりにならなかつたでしょうか。また、くうしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやつと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしなくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があつたでしょうか。何もありません。ただ、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこつただけです。世の中のよいものをこわすことです。このまへの世界戦争のあとでも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの国々ではいろいろ考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまつたのは、またこんな残念なことではありませんか。

10月29日 (土)
10:00~17:00
わかやま街歩コ (まちぽこ)
と、読むのだそうです

本町通りが歩行者天国になり、
様々なイベントが行われます。

川柳 大野啓子さん

年金に 贅沢、敵と さとされる
若者よ 憲法守れ 死に行くな
旅に出て ススキ波打ち 触れくる手



**介護保険 '改正' に
地域からどう立ち向かうか?**

とき: 10月30日 (日) 13:30~16:30
講師: 日下部雅喜氏 (大阪社保協)
場所: 勤労者総合センター6F
参加費無料 定員100名
どなたでも参加できます。
ぜひお越しください。

主催: 介護保険の改善をめざす和歌山実行委員会

こんにちは松坂みち子です No. 294